

もしも水俣の森を手入れしなかったら



熊本県立水俣高等学校 電気建築システム科 建築コース
2年生3名



11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

15 陸の豊かさも守ろう

『環境首都水俣』に学ぶ水高生から世界への「いのち」の発信

1 仮説

- ・山を放置すると手が付けられなくなる
- ・**死の山**になる
- ・環境問題



3 調査結果

- ・手入れされていない山は荒れ重機が入りにくい
- ・収穫適齢期が過ぎ、森の高齢化が進む
- ・外国産の木を使う**デメリット**
- ・鹿の剥皮被害
- ・木を植えるとき、コストがかかる



2 仮説の検証

- ・山林不動産、緒方さんの講話
- ・インターネットを使って調べる



5 課題・問題点に対する独自の解決策

- ・日本の木の現状を伝える
- ・伐採実習
- ・働く人を増やす



4 課題と問題点

- ・定期的な森の手入れが足りない
- ・日本の木を使う
- ・古い木を伐採し、若い木を育てる
- ・山を放棄しない
- ・重機が通れる道を作る

6 今後の活動・展望

- 森に携わっている人の話を聞き、正しく理解する
- 自分のできることを考える
- 課題の解決策を調べる

7 参考文献

[政府広報オンライン:](#)
[木材を使用して、元気な森林を取り戻そう!](#)